



ほけんだより

19年度7月号
明照保育園



【子どもの健康状態】



6月中の主な欠席理由は発熱でした。中には入院した子もいました。感染症の報告としては、溶連菌感染症（幼児1人乳児1人）、ヘルパンギーナ（乳児1人）がありました。他に、中耳炎（6人）、嘔吐（6人）、下痢（8人）、ぜんそく（1人）でした。これから水いぼやとびひなどの皮膚病に注意が必要です。園医の市川先生より、この時期のすり傷・切り傷などからの傷病みをしないようにするためには、『清潔にすることが一番！！』だそうです。

【歯科健診について】

6月14日（木）に歯科健診が行われましたが、その日に欠席していて未受診の子は 7月26日（木）9：00～ 山本歯科の山本先生に診てもらいます。なるべくお休みしないようにして下さいね。

【気をつけよう 夏の病気】

★ヘルパンギーナとは・・・夏かぜの一種で、のどの奥に水疱ができ高熱が出ます。水疱がつぶれると痛みがあり、食欲が無く不機嫌になります。

★プール熱とは・・・夏かぜの一種で、発熱、のどの痛み、結膜炎などの症状があります。プールで感染することが多いため、こう呼ばれています。



かかってしまったら・・・汗と高熱で脱水症状を起こしやすいので、水分補給を心がけましょう。高熱が出たら医師の診断を受けましょう。

調理に工夫を・・・のどの痛みが激しい時は、かまずに飲み込めるものにしてしまおう。痛みを刺激するような熱いもの、冷たすぎるもの、酸味のあるもの、塩味のきついものは避けるようにしまおう。

予防にはやっぱり

うがい てあらい



【他の子にうつる前に予防しましょう】

★アタマジラミ・・・子どもの髪の毛に寄生します。頭のかゆみや不快感などがありますが、症状のないことが多いようで、気付くまでに1カ月くらいかかることが多いです。プールの時期に多く、接触するとうつります。後頭部や側頭部に多く、フケと間違いますが、髪の毛に付着しているため、簡単には取れません。

うつってしまったら・・・病院や薬局で相談し、駆除をしましょう。

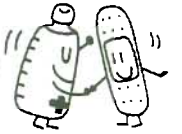
寝具、衣服などをよく日干ししましょう。シーツ、まくらカバー、帽子は熱湯で洗いましょう。

集団生活の中で、かかっても軽くすむ子と、ひどくなって他の症状も合併してしまう子等、体質によって様々です。他の子にうつさないためにも予防しましょう！！



★水いぼ・・・ウイルス性のイボで、硬くてつやがあり、真ん中がくぼんでいます。脇の下、脇腹、股の付け根など、皮膚と皮膚がすれ合うところによくでき、イボがつぶれるとうつります。接触により直接感染します。タオルなどから間接触もします。

うつってしまったら・・・放っておくと体中に広がります。ひとつでも水いぼを見つけたら、すぐに病院へ行きましょう。（時間をかければ自然に治りますが、集団生活をしていると他の子にうつしてしまうことになります。）



★とびひ・・・虫さされやすり傷に菌が入り、感染する皮膚病です。透明な水疱ができ、それが白く濁ってきます。水疱は破れやすくかゆみもあるため、かきむしることで菌がうつってしまいます。

うつってしまったら・・・子ども自身の体だけでなく、他の子にうつってしまいます。なるべく早く医師の診断を受け水疱をガーゼなどで覆いましょう。



【おわりに】

今年は今のところ涼しい日が多いですが、これから急に暑くなると体が適応できなったり、体力が落ちる時期です。睡眠・食事・適度な運動と、日頃からの生活リズムがより大切になってきます。早めに就寝して疲れをとり、食事をしっかり食べて元気に遊びましょう！！